

ぐりーんず greens

第22号

2019.1 発行

理念: 地域社会に信頼される病院としての心温まる医療と急性期・高機能・先進医療との調和

基本方針

- ・本学の理念である「至誠と愛」に基づき、皆さまに信頼される病院を目指します。
- ・患者さんのプライバシーを守り、一人ひとりの権利を尊重します。
- ・つねに最先端の医療技術と知識を用いて、安全で良質の医療を提供します。
- ・患者さんに合った最善のチーム医療を行います。
- ・中核病院として地域の診療所・病院等との連携を推進し皆さまの健康を維持・増進します。



病院長ご挨拶



今回は平成31年 最初のぐりーんずへのご挨拶となります。謹んで新年のお祝辞を申し上げます。

旧年中はひとかたならぬご厚情を賜り、誠にありがとうございました。本年もよろしくお願い致します。

さて、皆さま平成30年はいかがな一年でしたでしょうか。平成から次年号期への過渡期として、色々な事がご記憶に残る一年ではなかったかと推察申し上げます。当センターでも平成30年には色々なことがありました。今後の地域医療包括ケア体制を見据えた取り組みとして、入退院支援センターを開設いたしました。また、Joint commission international (JCI) や日本病院評価機構などの第三者評価機構をみすえた患者様目線の院内改革も始まりました。さらには、内部労働環境改善を目指して、職員特に、いままで手がつけられなかった医師の働き方改革が始まっています。などなど事例を数えればきりがありませんが、一つずつ着実に事例を改善して、次世代へ良きものを継承していきたいと存じます。

最後に、今後とも皆様方の益々のご活躍とご健勝を祈念するとともに、ご支援を賜りますことをよろしくお願い致します。



平成31年1月
病院長 新井田 達雄

整形外科



平成30年9月に八千代医療センターに着任し、11月1日付で整形外科科長を拝命致しました。

私は昭和60年富山医科薬科大学を卒業、富山医科薬科大学整形外科に入局いたしました。富山赤十字病院など関連病院で研修を行い、平成11年から富山医科薬科大学で勤務いたしました。平成20年から東京女子医科大学本院で、股関節外科を中心に診療させて頂いておりました。股関節に病気を持つ方の病状と日常生活動作の不自由度に合わせて、保存治療、骨切術、人工関節置換術など、その方の希望に合わせた治療を心掛けています。

脊椎外科は、昨年4月に赴任した、玉木亮が診療を行っております。膝関節外科は谷口浩人、吉本伸之が引き続き診療にあたっています。現在のところ、手術可能な変性疾患は股関節、脊椎、膝の3領域です。将来的には、肩関節、肘関節、手関節、足関節の手術も可能になるように専門医の派遣を大学にお願いしています。また、現在途切れている症例検討会も再開できればと思います。

日本の高齢化は、世界でも類を見ない速さで進行しており、平成26年10月1日現在で、65歳以上の高齢者人口は約3,300万人と過去最多になり、総人口に占める割合(高齢化率)は25.9%に達しています。

八千代市の高齢化率は、国の平均よりは低いものの、高齢者人口は増加を続けており、平成26年10月1日現在の高齢者人口は45,025人、高齢化率は23.2%で、高齢化が進んでいます。平成37年には3万1,053人(15.6%)と推計され、急激な増加が見込まれます。これに伴い大腿骨近位部骨折の増加が止まらない状態です。遅ればせながら大腿骨頸部骨折地域連携パスが採用できればと思います。

また、脆弱性骨折が骨折連鎖を引き起こすことはよく知られていますが、骨折後の二次予防の導入と継続は十分に行われていません。そこで、回復期リハビリテーション病院退院時のアウトカムとして骨粗鬆症治療薬の導入と継続ができればと思います。

症例検討会、大腿骨頸部骨折地域連携パス、骨粗鬆症治療の継続など、八千代市をはじめ各地域の医療機関と円滑な連携ができますよう、皆様のご協力を賜りながら精進して参りたいと思います。ご指導ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

科長 森田 裕司



褥瘡対策に関する取り組みについて (褥瘡対策委員会の活動)

褥瘡(床ずれ)は、長期間の寝たきり状態のみならず、疾患急性期、周術期および鎮静薬使用時などでベッド上での安静が一定期間必要な場合でも生じることがあります。臀部(仙骨部・坐骨部)、腰の骨(腸骨部)、大腿外側(大転子部)、踵といった骨が出ている部位に起こりやすい傾向があります。褥瘡の予防対策としては、体位変換、マットレスなどで一か所に体の圧迫が集中しないようにする体圧分散、皮膚の摩擦やずれの予防、保湿などによるスキンケア等が必要になります。

八千代医療センターでは、院内の褥瘡の予防および治療に関して、「褥瘡対策委員会」が中心になって活動を行っています。委員会のメンバーは、竹内正樹委員長(形成外科診療科長)、三石剛副委員長(皮膚科診療科長)と看護師長1名、皮膚・排泄ケア認定看護師2名、薬剤師1名、管理栄養士1名、理学療法士1名、ソーシャルワーカー1名、医療支援室1名、業務管理課1名で構成されています。

主な活動として、院内の新規褥瘡発生ならびに院外からの持ち込み褥瘡を有する患者さんの褥瘡発生要因の分析、栄養評価、リハビリによるポジショニング、創処置方法や予防的褥瘡対策に必要な物品(マットレス・ベッドなど)の検討を多職種で行っております。最近では医療機器の圧迫によって生じる創傷(医療関連機器圧迫創傷:MDRPU)の予防にも取り組んでいます。また、皮膚・排泄ケア認定看護師が中心となり、各病棟に配置している褥瘡対策に取り組む看護師(褥瘡リンクナース)と連携して、入院患者さんの褥瘡に関して統一した評価やケアが行えるように活動を行っています。毎月の多職種による褥瘡回診では、褥瘡を発生した患者さんの診察や処置に加えて、治癒に向けたケアの検討と情報共有ならびに各病棟スタッフへのケア・処置指導を行っています。

さらに委員会の関連事業として、年4回「やちよ創傷セミナー」を開催し、院内をはじめ院外のクリニック・病院・介護施設などのスタッフの方々に向けて褥瘡予防やケア・治療に関するセミナーを行っています。2018年は、6月に「創傷被覆材の使い方のコツ」、9月に「創傷治癒と栄養管理」、11月に「失禁関連皮膚障害のケア及び予防的ケア」についてのセミナーを実施しております。次回は2019年2月に理学療法士によるポジショニングに関するセミナーを予定しておりますので、ご参加をよろしくお願い致します。



褥瘡対策委員会メンバー



褥瘡回診



やちよ創傷セミナー
(外用剤の使い方レクチャー)



やちよ創傷セミナー
(ポジショニング実習)

お知らせ

ご紹介の際は、紹介状(診療情報提供書)をご用意頂き、事前のご予約をお願い致します。

医療機関からの診察・検査連携のご予約(地域連携直通)

TEL 047-458-6543 FAX 047-458-6545

受付時間 平日 9:00～17:00・土曜日 9:00～13:00

※日曜、祝日、第3土曜日、創立記念日(12/5)、年末年始(12/30～1/4)はお取扱していません。

※時間外の場合はFAXを送信して下さい。翌受付時間内にご連絡させていただきます。

※予約日時・医師等の変更を希望される場合は前日までにご連絡下さい。

医療連携マネージャー(医師)

緊急を要する当日(日中)のご紹介は、紹介診療科が定まっている場合は従来通り当該診療科の医師が対応します。担当診療科の特定がしにくい場合は、「医療連携マネージャー」が電話対応をさせていただきます。ご対応は地域連携直通電話の受付時間内とさせていただきます。

検査連携(医療機関から申込)

検査連携のご依頼は地域連携直通電話の受付時間内とさせていただきます。

応需検査:CT、MRI(単純)、RI、XP、マンモグラフィ、骨密度測定、セファロの画像検査

患者さんからの診察のご予約(予約センター)

TEL 047-458-6600

受付時間 平日 9:00～16:00・土曜日 9:00～11:30

※日曜、祝日、第3土曜日、創立記念日(12/5)、年末年始(12/30～1/4)はお取扱していません。

※予約日時・医師等の変更を希望される場合は前日までにご連絡下さい。

やちよ夜間小児急病センター(中学3年生までの小児対象)

TEL 047-458-6090

受付時間 毎日 18:00～23:00

医療相談は行っていません。ご予約の必要はありません。受付時間内に直接ご来院下さい。

第8回地域医療連携フォーラム開催案内

「第8回東京女子医科大学八千代医療センター地域医療連携フォーラム」を下記の通り開催致します。日頃より大変お世話になっております八千代市医師会及び歯科医師会をはじめ、近隣の医師会、歯科医師会、薬剤師会、地域医療支援病院における連携登録医の先生方、メディカルスタッフ、行政機関の皆様のご参加申込を頂いております。当日のお越しをお待ちしております。

「第8回東京女子医科大学八千代医療センター地域医療連携フォーラム」

日時:平成31年2月2日(土) 17:00～20:00(受付開始16:30)

会場:ウイシュトンホテル・ユーカー(千葉県佐倉市ユーカーが丘4-8-1)

内容:第1部 講演会 「ワーク・ライフバランスと地域医療連携」

ワーク・ライフバランス上級コンサルタント(WLB社)

日本郵政株式会社 人事部企画役 伊藤 伸也 先生

第2部 意見交換会・懇親会



東京女子医科大学

八千代医療センター

TOKYO WOMEN'S MEDICAL UNIVERSITY YACHIYO MEDICAL CENTER

〒276-8524 千葉県八千代市大和田新田477-96

TEL 047-450-6000(代表)

FAX 047-458-6545

医療支援室地域連携 TEL 047-458-6543(直通)